

医学部

医療・保健・福祉の向上発展を目指す。

香川大学医学部では地域医療に、そして世界に貢献できる医師・看護師および実践力のある心理援助者の育成と世界に通用する視野をもつ医療人・心理援助者・研究者の輩出を目指しています。

医学科

国際標準の医学教育プログラムを導入し、医師として必須となる医学知識と技術を修得するだけでなく、自ら課題を見つけその問題に対して最良の解答を追究することができる課題解決能力と、それらの知識・技術・能力を生涯に亘り発展・向上させていくための自己研鑽力を持った医療人となるよう能動的学習を推進しています。また、診療チームの一員としての高い倫理観、責任感と信頼される人間関係を構築できるコミュニケーション力を備えた人材を育成しています。

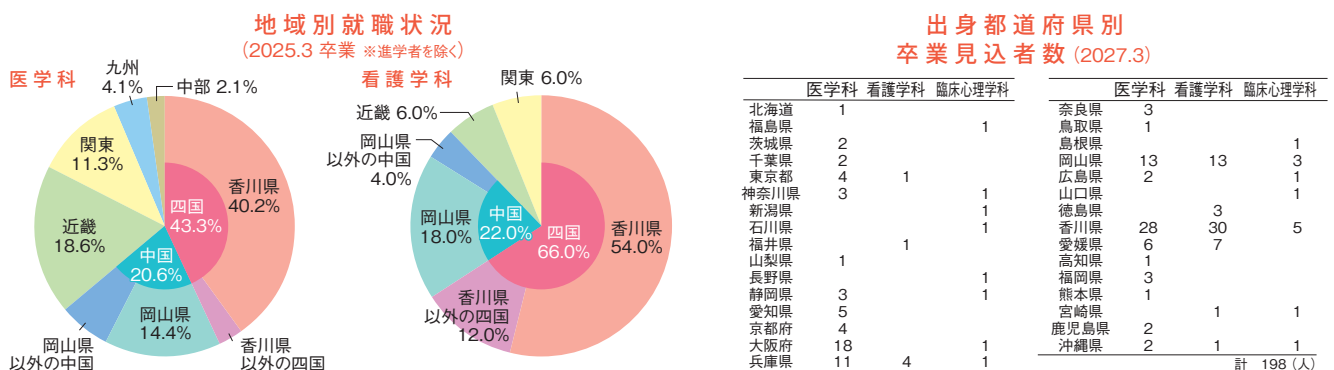


看護学科

看護専門職として人権尊重を原則とし、今後の社会変化に柔軟に対応できるよう広く国内外に知見を求め、学際的な意見交換ができる高い教養を育み、自ら知識・技術を研鑽できる人材の育成を目指しています。そのため、学生の主体性を大切にし、多様な価値観と出会うフィールド等での経験を通して、論理的な思考力と豊かな人間性を伴う高い実践力を同時に身に付けることができるよう教育を行っています。

臨床心理学科

医学部の中に設置された臨床心理学の教育機関であり、心理学及び臨床心理学の体系的な知識、心理臨床における基礎的な実践力とともに医学的素養を有し、援助的コミュニケーション能力を発揮して、医療・教育・福祉等の分野で多職種連携・協働ができる資質を持った心理援助者を育成します。



大学院医学系研究科(修士課程・博士前期課程)

●看護学専攻(博士前期課程)

看護学の領域において、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。特に、助産学コース、公衆衛生看護学コースでは、高度実践能力と教育研究力を備えた助産師・保健師を育成します。

●臨床心理学専攻(修士課程)

臨床心理学専攻(修士課程)は、①医学を融合させた、世界に通じる心理学・臨床心理学の教育研究を目指します。②心理援助者に必要な高度な知識と経験を有し、人間性の豊かな人材を育成します。③心理学及び臨床心理学の進歩に貢献すると共に、心理臨床の実践を通して、地域住民の福祉の充実発展に寄与します。

大学院医学系研究科(博士課程・博士後期課程)

●医学専攻

医学・生命科学の領域において、研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。

●看護学専攻(博士後期課程)

あらゆるライフステージにある人々の健康 QOL の向上を目指し、健康に関連する学問分野との融合により看護を探究することで、生命・生活・人生に生じる様々な健康に関するイノベーションを起こすことに寄与する、高い倫理観・指導力をもつ看護実践者、教育・研究者の育成を目的としています。

●臨床心理学専攻(博士後期課程)も現在設置準備中です。

※医学部・大学院医学系研究科について、詳しくは <https://www.med.kagawa-u.ac.jp/> をご覧ください。